

関西経済レポート

（2018 年 1 月）

～海外経済の回復・拡大等を背景に輸出が好調に推移～

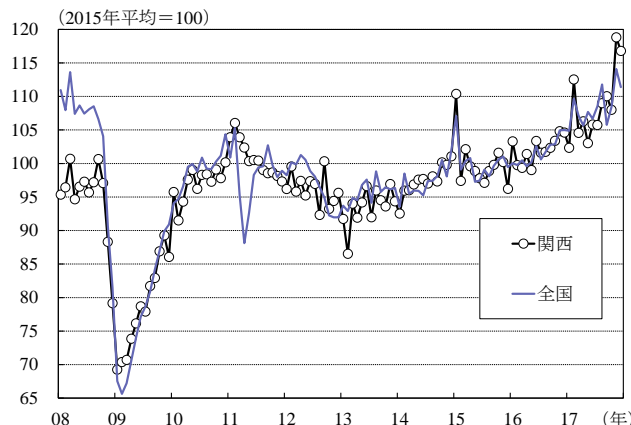
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 関西経済は、緩やかな拡大を続けている。
- ◇ 企業部門では、生産の回復に一服感がみられる一方、輸出は増加している。企業収益は、そうした輸出の回復等を受けて拡大基調にあり、設備投資も緩やかに回復している。
- ◇ 家計部門では、スーパー販売額が弱含みで推移する一方、百貨店販売額は訪日外国人客の増加や株価の回復を受けて前年を上回り、個人消費は全体として底堅さを維持している。雇用・所得環境は引き続き堅調に推移している。
- ◇ 先行き、関西では生産・輸出の回復・増加基調が続くとともに、インバウンド消費の拡大等も景気を後押しするとみられる。リスク要因としては地政学情勢の急変やトランプ政権の政策運営等が挙げられ、これらの貿易や為替変動に与える影響には引き続き注意を要する。

【今月の経済指標】輸出

- ◇ 関西の実質輸出（物価変動の影響を除いた実質的な価値ベースの輸出）は、2017 年 12 月に前月比▲1.7%と 2 ヶ月ぶりに減少した（全国は同▲2.4%）。単月として過去最高を記録した 11 月（同+10.0%）から減少したが、引き続き高水準を維持している。四半期ベースでは、10-12 月期は前期比+5.8%と 7-9 月期（同+3.1%）から伸びが加速し、全国の伸び（7-9 月期：同+1.9%、10-12 月期：同+2.4%）も上回る等、関西の輸出は好調に推移していると評価できる。

実質輸出の推移



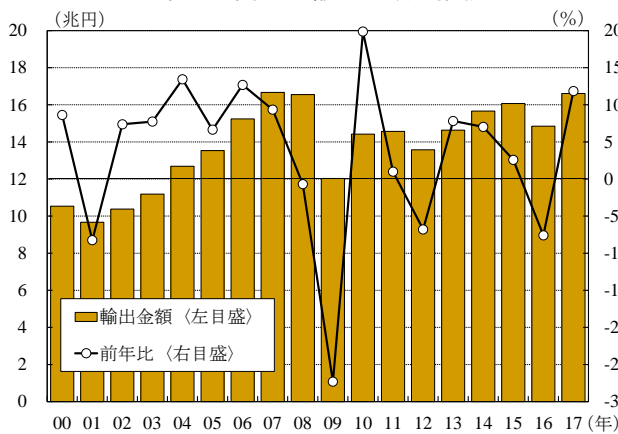
(注)実質輸出は、名目輸出金額(貿易統計)を企業物価で除して算出。
(資料)日本銀行大阪支店統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【トピックス】2017年の関西の輸出動向

2017年の関西の輸出金額は前年比+11.8%と2年ぶりに増加し、金額も16兆6,091億円と2007年に次ぐ高水準を記録した（第1図）。2017年通年の為替レート（税関公示レートの平均：112.33円/ドル）が前年（108.95円/ドル）から3.1%の円安となったことに加え、海外経済の堅調な回復・拡大に伴い輸出数量も増加した。

輸出金額を国・地域別にみると、アジア向けは前年比+13.0%、米国向けは同+11.8%、EU向けは同+12.0%といずれの地域向けも増加しており、なかでも中国向けは同+21.0%と大きく伸びて全体を押し上げた（第1表）。品目別には、一般機械、電気機器、その他（科学光学機器等）による増加寄与が大きかった。

第1図：関西の輸出金額の推移



(注)「関西」は2府4県ベース(以下同じ)。
(資料)大阪税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第1表：関西の輸出金額(2017年)

国・地域別	金額 (兆円)	前年比 (%)	前年比 寄与度 (%ポイント)	品目別	金額 (兆円)	前年比 (%)	前年比 寄与度 (%ポイント)
アジア	11.4	13.0	8.8	電気機器	4.9	6.9	2.1
うち中国	4.3	21.0	5.0	一般機械	3.8	16.1	3.6
うちNIEs	4.5	6.2	1.7	原料別製品	2.2	10.2	1.4
うちASEAN	2.7	10.6	1.7	化学製品	2.0	12.1	1.5
米国	2.2	11.8	1.6	輸送用機器	0.7	4.0	0.2
EU	1.7	12.0	1.2	食料品・原料品・ 鉱物性燃料	0.7	11.7	0.5
その他	1.4	2.8	0.3	その他	2.3	20.9	2.6
合計	16.6	11.8	11.8	合計	16.6	11.8	11.8

(資料)大阪税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

中国向け輸出の内訳を品目別にみると、電気機器（半導体等電子部品ほか）、一般機械（半導体等製造装置ほか）、その他に含まれる科学光学機器（液晶画面用の偏光板フィルム等）などが増加した（第2表）。また、一般機械の輸出の内訳を国・地域別にみると、中国及びNIEs向けに半導体等製造装置が大幅に伸びたほか、米国向けでは建設用・鉱山用機械、ASEAN及びEU向けには原動機（内燃機関等）が増加した（第3表）。

第2表：関西の中国向け輸出金額(2017年)

品目別	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 寄与度 (%ポイント)	主な内訳 品目	金額 (億円)	前年比 (%)
電気機器	14,935	15.8	5.7	半導体等 電子部品	6,841	18.1
一般機械	7,268	29.0	4.6	半導体等 製造装置	1,285	34.0
化学製品	5,537	21.5	2.8	プラスチック	2,431	19.3
原料別製品	5,392	9.8	1.4	鉄鋼	1,363	13.0
食料品・原料品・ 鉱物性燃料	1,391	23.2	0.7	—	—	—
輸送用機器	558	26.0	0.3	自動車の 部分品	411	75.9
その他	7,932	33.0	5.5	科学光学 機器	4,716	36.2
合計	43,014	21.0	21.0			

(資料)大阪税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

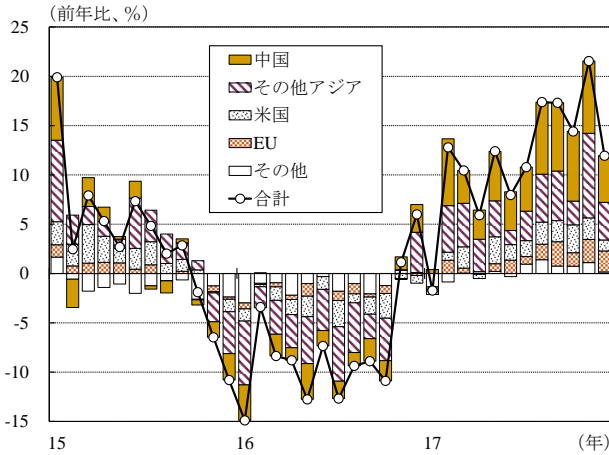
第3表：関西の一般機械の輸出金額(2017年)

国・地域別	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 寄与度 (%ポイント)	主な内訳 品目	金額 (億円)	前年比 (%)
アジア	21,715	18.5	10.3	半導体等 製造装置	4,156	26.2
うち中国	7,268	29.0	5.0	半導体等 製造装置	1,285	34.0
うちNIEs	7,783	9.3	2.0	半導体等 製造装置	2,680	21.5
うちASEAN	6,724	17.9	3.1	原動機	1,314	21.7
米国	7,183	13.1	2.5	建設用・ 鉱山用機械	1,973	13.8
EU	4,644	18.9	2.3	原動機	974	41.7
その他	4,629	7.9	1.0	—	—	—
合計	38,171	16.1	16.1			

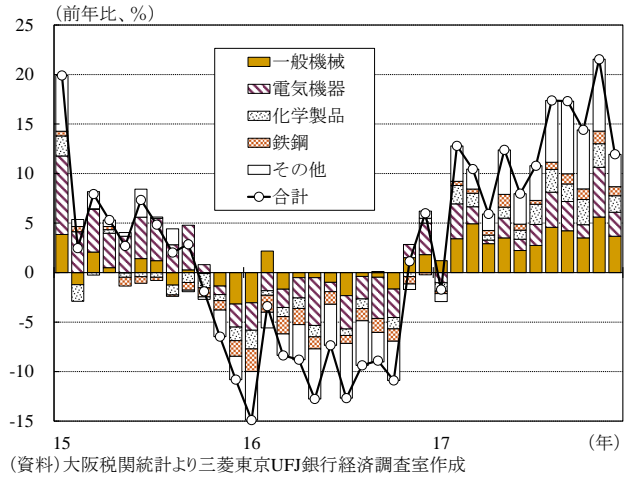
(資料)大阪税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

2017年12月単月の輸出金額は前年比+11.9%と11ヵ月連続で増加したが、増加幅は11月（同+21.5%）から縮小した（第2図、第3図）。先行き、円安による円建て輸出金額の押し上げ効果は一巡するものの、海外経済の堅調な拡大が続くことで、関西の輸出は緩やかな増加基調を辿ると予想される。

第2図：関西の輸出金額の推移（輸出先別）



第3図：関西の輸出金額の推移（品目別）



(平成 30 年 1 月 30 日 吉村 晃 akira_2_yoshimura@mufg.jp)

関西経済主要指標一覧

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2017年			2017年						
					4-6	7-9	10-12	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
景況感	日銀短観(業況判断DI) 全規模・全産業	関西	-	-	-	12	12	15	-	-	-	-	-	-
		全国	-	-	-	12	15	16	-	-	-	-	-	-
	景気ウォッチャー調査 (現状判断DI) 季節調整値	関西	49.9	46.9	-	50.2	51.7	54.9	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2
		全国	48.8	46.4	-	49.2	50.3	53.3	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9
生産・在庫	鉱工業生産(※) 上段:季節調整済前月比% 下段:前年比%	関西	▲1.2	2.2	-	0.7	▲0.9	-	▲1.3	3.9	▲6.8	2.2	3.0	-
		全国	▲0.9	1.1	-	5.4	2.2	-	4.3	6.7	▲3.6	2.2	1.2	-
	在庫(※) 上段:季節調整済前月比% 下段:前年比% 年度、四半期は期末値	関西	1.1	▲1.0	-	3.8	1.9	-	0.7	0.9	0.2	0.5	▲3.0	-
		全国	1.1	▲4.0	-	1.4	2.9	-	3.7	3.6	2.9	7.8	10.2	-
		関西				▲0.5	▲1.6	-	▲1.1	▲0.6	0.0	3.2	▲0.8	-
		全国				▲2.9	▲2.4	-	▲2.3	▲2.9	▲2.4	2.0	3.0	-
貿易	輸出金額(円ベース) 前年比%	関西	▲1.9	▲3.7	-	8.6	15.2	15.8	10.8	17.4	17.3	14.4	21.5	11.9
		全国	▲0.7	▲3.5	-	10.5	15.1	13.0	13.4	18.1	14.1	14.0	16.2	9.3
	輸入金額(円ベース) 前年比%	関西	▲8.9	▲9.6	-	13.0	13.4	17.9	16.8	12.7	11.1	20.8	15.4	17.9
		全国	▲10.2	▲10.2	-	16.2	14.5	17.0	16.3	15.3	12.1	19.0	17.2	14.9
設備投資	日銀短観(設備投資計画) 全規模・全産業、前年度比%	関西	▲3.5	1.3	4.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全国	3.9	0.3	7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
雇用	完全失業率 年度、四半期:原数値 月次:季節調整値、%	関西	3.7	3.4	-	3.0	3.1	2.7	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	3.2
		全国	3.3	3.0	-	3.0	2.8	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8
	雇用者数 前年比、万人	関西	5	18	-	18	25	5	36	28	9	1	12	2
		全国	58	80	-	67	89	63	96	97	74	62	86	43
有効求人倍率 季節調整値、倍	関西	1.15	1.31	-	1.44	1.47	1.51	1.47	1.47	1.46	1.49	1.51	1.52	
	全国	1.24	1.39	-	1.49	1.52	1.56	1.52	1.52	1.52	1.55	1.56	1.59	
個人消費	名目消費支出額 (家計調査ベース) 二人以上の世帯、前年比%	関西	▲2.1	▲2.6	-	2.5	▲3.7	▲0.2	▲5.0	▲1.8	▲4.1	▲0.1	5.4	▲4.9
		全国	▲0.9	▲1.6	-	0.7	0.8	1.3	0.4	1.4	0.6	0.3	2.4	1.2
	消費支出額 (家計消費指数参考統計) 前年比%	関西	▲2.9	▲2.3	-	2.3	▲1.2	-	▲0.7	1.3	▲4.2	▲0.2	3.2	-
		全国	▲1.9	▲1.5	-	0.9	1.1	-	0.6	1.2	1.6	0.4	2.3	-
	百貨店・スーパー販売額(※) 全店ベース、前年比%	関西	2.9	▲1.6	-	0.1	1.2	-	▲0.1	0.8	3.4	▲0.2	1.7	-
		全国	2.7	▲1.1	-	0.1	0.7	-	▲0.2	0.7	1.8	▲0.5	1.4	-
消費者態度指数 原数値	関西	40.9	41.6	-	43.1	43.2	43.6	43.2	43.2	43.1	43.6	43.8	43.4	
	全国	41.5	42.2	-	43.6	43.9	44.3	43.9	43.7	44.1	44.2	44.3	44.3	
住宅投資	新設住宅着工戸数 前年比%	関西	3.9	2.7	-	▲4.1	▲0.8	-	▲3.3	1.8	▲0.7	▲1.5	▲4.0	-
		全国	4.6	5.8	-	1.1	▲2.4	-	▲2.3	▲2.0	▲2.9	▲4.8	▲0.4	-
	マンション供給戸数 前年比%	近畿圏	▲7.4	▲0.1	-	4.5	20.3	1.8	29.6	▲1.9	27.9	16.0	▲19.9	14.4
		首都圏	▲14.4	▲4.4	-	▲5.0	▲2.3	0.4	3.3	6.9	▲13.0	▲3.0	24.6	▲7.5

(注)設備投資は、ソフトウェアを含む。ただし、日銀短観(設備投資計画)2016年度、2017年度(計画)はソフトウェア・研究開発含む。

関西の完全失業率(月次)は当室にて季節調整。有効求人倍率の年度は季節調整値の単純平均。

「関西」は、特に指定のない限り2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)。

また、指標を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一。(※)は福井県を含む2府5県。

(資料)日本銀行大阪支店、日本銀行、内閣府、近畿経済産業局、経済産業省、大阪税関、財務省、近畿財務局、総務省、厚生労働省、国土交通省、不動産経済研究所資料等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（大阪）

吉村 晃 akira_2_yoshimura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。